

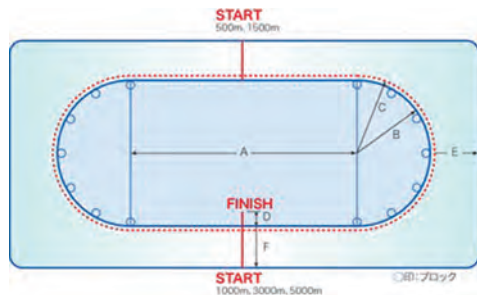
感動をふたたび、そして未来へ。

1972年の札幌オリンピックから44年。再び、札幌で冬季オリンピックの開催、そしてパラリンピック初開催に向けた機運を盛り上げるため、冬の競技の魅力や招致期成会の活動状況などをお届けします。

冬の競技をもっと身近に Vol.8 ショートトラック

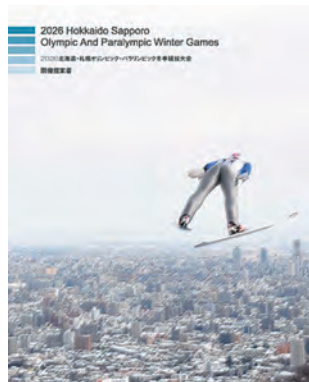
◆競技について

ショートトラック競技はアイスホッケーリンクに1周111.12mのコースを設定し、4人～6人が同時にスタートして500m、1000m、1500mの距離で競います。レースは各組上位2人(または必要数)が次のラウンドに進出する勝ち抜き方式で行われ、予選、準々決勝、準決勝、決勝と勝ち上がっていきます。レース中の追い越しはいつでもOKですが、前の選手を押す、あるいは引っ張るなどの妨害行為をすると失格になり、次のラウンドには進めません(原則的には追い抜く側に責任があります)。フィニッシュはスリットカメラでブレードの先端を1/1000秒まで計測するので、最後の粘りが雌雄を決します。集団で小さなトラックを回ると、カーブ部分の氷が特に傷んでくるため、1レースごとにトラックの位置を移動させ、計5本のトラックを交互に使用するのもこの競技の特徴です。例外として500mの準決勝以降では、トラックからフェンスまでの距離を確保するために真ん中3本のトラックを用いてレースが行われます。



◆札幌での主な大会

開催日	大会名	会場
29年1月8日(日) ～9日(月)	第39回全日本ショートトラック選手権大会	北海道立真駒内公園屋内競技場
29年2月20日(月) ～22日(水)	第8回アジア冬季競技大会 [大会略称: 2017冬季アジア札幌大会]	北海道立真駒内公園屋内競技場
29年3月12日(日)	第19回北海道ショートトラック選手権大会 第9回ノービス選手権大会	美香保体育館



冬季オリンピック・パラリンピックの「開催提案書」をJOCへ提出いたしました!

11月8日、冬季オリンピック・パラリンピック札幌招致期成会では、北海道および札幌市とともに、札幌市が市民意見を反映して作成した「開催提案書」をJOC(日本オリンピック委員会)へ提出いたしました。

今後も、北海道・札幌市と連携の上、中央への陳情・要望活動や、市民・道民の機運醸成活動など各種事業を展開し、招致実現を目指してまいります。